

# 病院紹介コーナー

## 【耳鼻咽喉科 堀病院】



耳鼻咽喉科 堀病院 理事長 兼 副院長 宇高 毅

### 1. はじめに

当院は昭和51年の開院以来、中耳手術の専門病院として頑張って参りました。しかし、昨年より、医師の交替に伴って、さらなるステージへのステップアップとして①副鼻腔内視鏡手術、②アレルギー性鼻炎に対する手術治療、③頭頸部良性腫瘍手術、④NBI電子内視鏡をはじめとした最新検査機器の導入、⑤睡眠時無呼吸症の検査・治療、⑥耳鳴りに対するTRT療法、⑦完全ペーパーレス化した分院の開設など、従来の大切なものを守りながら、さらなる発展のため新たな技術・機器の導入に踏み切りました。今回の病院紹介では、この一端をご紹介させていただきたいと思えます。



病院全景

### 2. 沿革

昭和51年11月 堀 興雄が19床で耳鼻咽喉科 堀医院開院  
 昭和56年 1月 39床に増床・移転し耳鼻咽喉科 堀病院となる  
 平成12年 8月 法人化し、医療法人興花会堀病院となる  
 平成23年 2月 東手城に分院（東手城医院）を開設  
 平成23年 4月 医療法人興花会を宇高 毅が継承

### 3. スタッフ紹介

**堀 興雄（院長）**・・・昭和37年鳥取大学卒。岡山大学耳鼻咽喉科入局後、国立福山病院（現福山医療センター）勤務を経て当院を開業。これまで4,000例を超える慢性中耳炎手術を実施している。（ピーク時は年250例）当院では、耳疾患全般の治療および慢性中耳炎に対する鼓室形成術を担当している。

**宇高 毅(理事長 兼 副院長)**・・・愛媛県今治市出身。平成8年産業医大卒。産業医大助教、九州労災病院耳鼻咽喉科部長、熊本労災病院耳鼻咽喉科部長を経て、平成22年10月より当院に勤務。主に、鼻副鼻腔疾患および睡眠呼吸障害の治療・手術を担当している。

**森田 善雄**・・・昭和32年岡山大学卒。元森田医院院長。これまでの豊富な経験を生かして、火・金・土の外来を担当している。

**平木 信明(東手城医院院長)**・・・福岡県北九州市出身。平成11年産業医大卒。産業医大助教、浜松労災病院副部長、熊本労災病院副部長を経て、平成23年2月より東手城医院に院長として勤務のほか、本院にて主に、咽喉頭疾患ならびに頭頸部疾患の手術を担当している。

#### その他のスタッフ

(本院) 看護師20名、看護助手3名、事務5名、臨床検査技師1名、薬剤師1名、  
管理栄養士1名

(分院) 看護師3名、看護助手2名、事務2名

## 4. 当院の治療の特色

### ■ 耳に関連した疾患

**【慢性中耳炎、真珠腫性中耳炎】**・・・積極的に聴力改善を目的とした鼓室形成術を行っています。当院は、これまで4,000例を超える慢性中耳炎手術を実施し、かつては「鼓室形成術」の症例数では全国ランキングでも上位を占めるなど、極めて高い実績を誇っております。

**【突発性難聴】**・・・重症例に対して、入院のうえステロイドとプロスタグランジンの点滴治療を行っています。

**【めまい疾患(メニエール病・良性発作性頭位めまい症・前庭神経炎など)】**・・・めまいの原因は様々で、その60%は内耳に起因するとされています。当科では、めまいの原因を検索しながら、原因に沿った治療法を行うようにつとめています。特に、BPPVにおいては、理学療法(耳石置換法：後半規管型BPPVに対してはEpley法、外側半規管型BPPVに対してはLempert法を)を施行しています。

**【耳鳴り】**・・・当院では、従来からの薬物療法に加えて、TCIと言うノイズ発生器を用いたTRT(Tinnitus Retraining Therapy)療法をマキチエ補聴器の協力のもと積極的に行っています。(第1、3金曜日の午前)

### ■ 鼻に関連した疾患

**【慢性副鼻腔炎】**・・・慢性副鼻腔炎は、マクロライド少量長期療法の出現により、保存的治療による治癒率が格段に向上しましたが、やはりいまだ十分とはいえません。かつては慢性副鼻腔炎に対して、菌茎の上を切るCaldwell-Luc法を行っていましたが、現在で

は内視鏡副鼻腔手術が主流となっており、当院でも積極的に行っております。このため、術後の苦痛が軽減され、入院期間も短縮（1週間以内）する傾向にあります。

【アレルギー性鼻炎】・・・アレルギー性鼻炎の多くは、内服治療にて症状が軽減しますが、重症例では必ずしも効果が十分とはいえないことがあります。このような症例に対して、当院では、積極的に手術療法を行っています。手術法としては、下甲介粘膜焼灼術（アルゴンプラズマレーザー：外来）、粘膜下下甲介切除術（入院）、後鼻神経切断術（入院）などがあり、いずれも内視鏡下に行っています。

#### ■ 咽喉頭に関連した疾患

【慢性扁桃炎、扁桃肥大】・・・超音波凝固装置（ソノサージ）を用いた口蓋扁桃摘出術を行っています。

【声帯ポリープ、ポリープ様声帯、喉頭腫瘍】・・・Stortz製ビデオラリンゴシステムを用いた喉頭微細手術を行っています。

【頭頸部良性腫瘍】・・・耳下腺・顎下腺・甲状腺の良性疾患に対してメドトロニック社のNIM response（手術中に神経をモニターする装置）を用いて安全な手術を行っています。

#### ■ 睡眠呼吸障害

【睡眠時無呼吸症】・・・睡眠時無呼吸症は、その診断・治療の煩雑さなどから、十分に診断・治療が行われているとは言い難い疾患です。当院では簡易検査の後、Full-PSGを用いた1泊入院による診断を行っています。またさらに、扁桃肥大や鼻閉を原因とした睡眠呼吸障害に対して積極的に手術を行っています。特に、鼻閉は睡眠呼吸障害の原因となるだけではなくCPAP導入の妨げとなる場合があります、このような症例でお困りの場合は是非、当院に紹介していただきたいと思っております。

### 5. 当院の手術件数

火曜・金曜は局所麻酔による手術（主に鼓室形成術）、土曜は全身麻酔による手術を行っています。当院の手術実績を図1に示します。

### 6. 最後に

最近、地方の医師不足は深刻で、耳鼻咽喉科も例外ではありません。福山市内においても、総合病院における耳鼻咽喉科の閉鎖・縮小は増加の一途をたどっており、現在、福山市内には、耳鼻咽喉科の手術を行う医療機関は当院を除いて福山市民病院しか存在しないのが現状です。今後、当院は、中四国地方で唯一の耳鼻咽喉科単科病院であるという強みをいかしながら、従来から得意としていた鼓室形成術のみならず、さらに発展させて、耳鼻咽喉科全般の手術を行う備後地区の耳鼻咽喉科サージセンターを目指してまいりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(図1) 当院の手術実績 (平成22年10月～平成23年7月)

<b>中耳</b>	
鼓室形成術 (乳突洞削開術)	58
外リンパ瘻閉鎖術	3
アブミ骨可動化術	1
耳瘻管摘出術	1
<b>鼻副鼻腔</b>	
内視鏡下副鼻腔手術 (側)	98
粘膜下下甲介切除 (側)	29
鼻中隔矯正術	23
後鼻神経切断術 (側)	6
内視鏡下眼か骨折整復術	1
<b>口腔・咽頭</b>	
両口蓋扁桃摘出術	4
アデノイド切除	1
<b>頸部・喉頭</b>	
喉頭マイクロ手術 (ポリープ、喉頭腫瘍)	4
耳下腺腫瘍	9
顎下腺腫瘍・唾石	2
舌下腺摘出術	1
頸部腫瘍 (甲状腺、リンパ節)	3